

震災時の行動について

(家庭保管用)

☆ご家庭内の目につきやすい場所においてください。

東京成徳大学中学・高等学校
(中高一貫部)

目 次

第 1 章	校舎の耐震性等について	
1.	校舎の耐震性	2
2.	震災に備えての備蓄品	2
	1) 個人用備蓄品 2) 本校における備蓄品	
第 2 章	大地震が起こったら	
1.	大地震が起こったら	3
	★もしもの時のためには	
	◎通学カバンの中にはいつも入れておこう！！	
2.	部活動中の対応	5
3.	登下校途中の対応	5
4.	在宅中の対応	5
第 3 章	自宅・生徒・保護者との連絡	6
1.)	学校からの連絡：緊急情報メールの配信	
2.)	生徒個人からの連絡	
3.)	保護者からの連絡	
第 4 章	帰宅、保護者による出迎え、保護	7
添付：	「緊急時のメモ」	
	「生徒下校カード」	

平成 2 6 年 1 0 月 1 日 第 1 版 発行

第1章 校舎の耐震性等について

1. 校舎の耐震性

東京成徳大学中学高等学校（一貫部）校舎は、耐震に優れており、倒壊の可能性はほとんどなく「火災・ガス漏れ・漏電」に留意し校舎内に留まることが安全確保の第一である。

2. 震災に備えての備蓄品

☆入学時に購入した個人備蓄品は、発災時、必要に応じて各自に配布される。

1) 個人用備蓄品

『アークスリー』～ 3日分の食料・水・ブランケットのセット

（カリフォルニア州で発生した災害体験を基にアメリカで開発された救援物資が届くまでの3日間を自力で生き抜くためのサバイバルキット）

- 非常用食品 1ブロック(1食分)400kcal×9=3,600 kcal 賞味期限5年間
【含有成分】強化小麦粉(添加物:ビタミンA, B1, B2, D, E, B6, B12、ナイアシン、鉄分、葉酸、マグネシウム、パントテン酸、カルシウム、燐)、植物性ショートニング(水素部分処理大豆、綿実油)、グラニュー糖・コーンスターチ・コーンシロップ、天然レモン香料・人工バター香料・人工バニラ香料、人工着色料(タルトラジン、食用黄色5号、食用赤色40号)、アスコビク酸(ビタミンC)、ガンマ/デルタトコフェロール(天然酸化防止剤)
- 非常用飲料水 1パック 125 cc×6=750 cc 賞味期限5年間
- 非常用簡易ブランケット 135 cm×210 cm 体温保持率90%

2) 本校における備蓄品

水・食糧・毛布・簡易トイレ・医療品・防寒、保冷剤・ヘルメット・ラジオ・懐中電灯・カセットコンロ・担架・乾電池・簡易浄水器・軍手・ポリ容器その他。

第2章 大地震が起こったら

1. 大地震が起こったら



地震発生から 30~40 秒の間

大揺れ！！

- ・身の安全を図る！
- ・まず気持ちを落ち着け冷静に！
- ・基本行動は「しゃがむ」「身をかくす」「頭を守る」

どこにいても身の安全を図る。大揺れの中では思うようには行動できない。

しかし、とっさに頭、首を両手や持ち物で保護して、少しでも安全な方へ移動する。

- ・机の下に入る。
- ・廊下など「ガラスの多いところ」では教室に入る。(ガラス面から離れる)
- ・情報図書館では、棚から離れる。
- ・教師も生徒も「棚から離れて！」「ガラスから離れて！」などと声を掛け合う。
- ・校庭では、校舎の壁際から離れ、校庭中央に避難する。可能であれば、校舎内に避難する。

場 所	生 徒 の 行 動
普 通 教 室	○校舎内は安全なので冷静に揺れが収まるのを待つ。
理 科 室	○薬品棚等の倒壊に備えて念のため机の下に入る。 ○火気使用中であれば、すぐに消火する。 ○有毒ガス発生の恐れがある場合はハンカチを鼻や口にあてる。
調 理 室	○食器棚や冷蔵庫等の倒壊に備えて机の下に入り、机の脚をつかむ。 ○火気使用中であれば、すぐに消火する。 ○ガスへの引火や、熱湯に留意する。
コ ン プ ュ ー タ 室	○ディスプレイ等の飛び出しに留意し、机の下に入る。
体 育 館	○頭、首を持ち物か両手でかばって天井や窓、壁からの落下物に注意しながら、体を低くする。
グ ラ ウ ン ド	○頭、首を持ち物か両手でかばって壁や校舎等建造物から離れて中央部方向に避難し、体を低くする。 ○出入口に近ければ、校舎内に避難する。(一貫部校庭)
プ ー ル	○速やかにプールのふちに移動し、ふちをつかむ。 ○揺れがおさまれば、すばやくプールから出る。 ○教師の指示で安全な場所へ避難する。(靴を履き、衣服やバスタオルで身を守る)

地震発生から1～2分後

大揺れがおさまってくる

地震発生から3～5分後以降

大揺れは既に去ったが、余震の襲来がある

- ・余震の揺れで、本震でゆるんだものや新たな崩壊、崩落、落下等が起こる
- ・指示にしたがい、危険箇所を避けて校舎内に避難する。
- ・「押さない」「駆けない」「しゃべらない」「戻らない」
……「おかしも」の徹底！！

★もしものときのためには……

※災害時の家族の集合場所や連絡方法を決めておきましょう！

※「NTT災害用伝言ダイヤル」の活用！

※携帯電話各社の「災害用伝言板サービス」の活用！

※自宅から学校までの徒歩による経路の確認！

～途中駅等で避難する場合も想定しておく。

～経路上の「帰宅支援ステーション」(コンビニや避難受け入れ施設)の場所や危険箇所の確認を行い、「帰宅支援マップ」を作成しておこう。

(経路途上の都県及び区市町村のHP内の「防災マップ」等を参考にするとよい)

◎通学カバンの中にはいつも入れておこう！！

①飲料水の入ったペットボトル

(250ml程度でもOK！使用後は捨てずに水筒代わりに利用しよう！)

②非常用の食糧(カロリーメイトなど)

できれば、③～⑥もあると良い！

③帰宅支援マップ(途中駅からの帰宅も想定しておくこと)

④テレホンカードと10円玉数枚

⑤携帯電話の充電コード

⑥コンタクトレンズの洗浄液

2. 部活動中の対応

- 1) 校内で部活動を行なっている場合は、基本的に活動している場所での指示に従い避難する。
(中高一貫部—校舎内へ 高等部—指示に従う)
- 2) 校外で部活動を行なっている場合は、まず活動している場所で身の安全を確保し、その後可能であれば、活動場所に近い校舎へ避難して指示に従う。
★河川敷での活動については、津波の遡上の可能性も踏まえておくこと

- * 高等部校舎・南校舎（含む、グラウンド）⇒高等部校舎へ避難
- * 弓道場・第2グラウンド⇒一貫部校舎へ避難
- * 河川敷グラウンド⇒一貫部校舎へ避難
- * 上記以外の場所での活動⇒引率者及び施設係員の指示に従って行動する」

3. 登下校途中の対応（自分の身は自分で守る！）

- 1) 登下校中は、原則として帰宅してください。
- 2) 帰宅するより学校のほうが近い場合には、学校に向かってください。
- 3) 危険を伴い、帰宅も学校に来ることもできないと感じたら、徒歩・自転車通学の生徒は自分の身の安全に注意しながら、最寄りの避難所（公立の小中学校・役所や公共施設や学校等）に避難してください。（事前に確認しておくこと！）
公共交通機関利用中は駅員や乗務員の指示に従って行動してください。
東京都及び神奈川県私立学校（小・中・高）は提携により避難が可能です。
- 4) 身の安全が確保できたら、家族に「無事であること」と「現在の避難場所」を「現在時刻」とともに連絡してください。
その後、学校にも同様の連絡をしてください。

*** 普段から、通学路上の「避難所等」の場所を確認しておきましょう。**

⇒「帰宅経路」の確認をしておきましょう

⇒「帰宅支援マップ」の作成が望ましい

4. 在宅時の対応

- 1) 安全が確認されるまで登校を見合わせ、自宅で待機してください。公共交通機関や学校に危険がなく、授業ができる場合は、登校を促す緊急情報メールを配信します。

第3章 自宅・保護者との連絡

1 学校からの連絡：緊急情報メールの配信

- ① 「Hot Con Pass」システムの学校管理サイトにメッセージを入力する。
- ② 入力されたメッセージは JTB データセンターより、このシステムに登録してある保護者・家族のメールアドレスに一斉配信されます。

※メールが届いていない場合は、携帯電話会社のサーバーに止まっている可能性が高いので、「新着メール」がないか、お手元の携帯電話から照会をお願いします。

Docomo：メールのトップ画面から「iモード問い合わせ」をクリックする。

Au：「Eメールメニュー」から「新着メール問い合わせ」をクリックする。

Softbank：「Eメールメニュー」から「新着メール受信」をクリックする。

お願い：このシステムは、JTB データセンターが停電に陥った場合は作動しません。また、学校が停電した場合、システムへの情報入力ができなくなる危険性があります。

そこで、次に記す家族間における非常時の連絡体制は、必ず決めておいてください。

◎学校HPにも、現況及び連絡事項等を配信いたしますので、随時ご覧ください。

2 生徒個人からの連絡

生徒は、「携帯電話で保護者に連絡してよい」という許可が伝えられたら、自宅・保護者に「無事であるが帰宅することができない」ことを連絡する。メールの方がつながりやすい。その際、メッセージには、「現在、何時何分」を必ず入力すること。

重要 携帯電話は充電できなくなるので、こまめに切って使用すること。

→避難時等にゲーム等をしていると肝心なときに通話不能となるので要注意！！

3 保護者からの連絡

1) 生徒との直接連絡

安否の照会に対応できる電話回線は限られていますので、それぞれのご家庭で生徒と直接連絡を取り合える通信手段——例えば、どの「災害用伝言板」を使うかなど——を日頃より話し合っておいてください。また、保護者からも生徒の携帯電話に「無事」であることのメールまたは電話を入れてください。その際、メッセージには、「現在、何時何分」を必ず入力してください。

2) 自宅以外の避難場所

保護者も帰宅困難に陥る危険性があるので、自宅以外の避難場所をどこにするのか、連絡方法はどのようにするのかをあらかじめ話し合っておいてください。

第4章 帰宅、保護者による出迎え、保護

- 1) 安全を確認後、徒歩、自転車、公共交通機関で帰宅することができる場合は、帰宅の許可を出すこととする。帰宅する生徒は、「生徒下校カード」に必要事項を記入し、担任を通して本部に提出する。帰宅したら必ず学校に連絡してください。
- 2) 徒歩、自転車、公共交通機関で帰宅することはできないが、保護者が迎えに来ることができる場合は、学校で待機させ、保護者が迎えに来たら、「生徒下校カード」に、必要事項を記入後、生徒を引き渡します。
- 3) 徒歩、自転車、公共交通機関で帰宅することができず、保護者が迎えに来ることもできない場合は、学校で保護します。

緊急時のメモ（必要なことをメモしておこう）

- 1) 学校：〒114 - 8526 東京都北区豊島 8 - 26 - 9
中学校 03 - 3911 - 7109 高校 03 - 3911 - 2786
高等部 03 - 3911 - 5196

2) 緊急連絡先

氏名①：	関係	
電話番号：		
E-mail：		
住所：		
その他：		

氏名②：	関係	
電話番号：		
E-mail：		
住所：		
その他：		

氏名③：	関係	
電話番号：		
E-mail：		
住所：		
その他：		

3) 家からの避難場所

--

4) 最終避難場所

--

5) 安否確認の方法（連絡が取れなかった時にどうするかも）

--

6) メモ（かかりつけの病院や薬・アレルギーその他なんでも）

--

生徒下校カード(参考)

下校日時	年 月 日 午前/午後 時 分
どちらかの <input type="checkbox"/> を必ずチェックする	<input type="checkbox"/> 本人のみによる下校
	<input type="checkbox"/> 引受人と共に下校（出迎えによる）
フリガナ 生徒氏名	
学年・組・出席番号 学級担任	年 組 番 （学級担任 先生）
生徒携帯電話番号	— —

フリガナ 引受人氏名	
生徒との関係	保護者： 父 ・ 母 ・ その他（ ） 保護者以外：
保護者以外の場合 住所	
保護者以外の場合 電話番号	— —
教職員氏名	

※帰宅確認欄

確認日時	年 月 日 () 午前/午後 時 分
確認事項	
確認者氏名	備考